2025.5　No. 352

会報いわて

一般社団法人
岩手県臨床検査衛生検査技師会

令和7年度　定時総会のお知らせ

一般社団法人　岩手県臨床衛生検査技師会定時総会

日時:　令和7年 5 月 24日（土曜日）14時00 分

会場:　Web 開催（岩手医科大学附属内丸 MC 技師研修室から配信

（ い わ て ）

1月30日　常務理事会議事録

開催日:令和7年1月 30 日（木）

時間　:18:00～20:00

場所　:ZOOM

参加者:高橋会長、千葉副会長、小野寺副会長、浅沼常務理事、佐々木常務理事、川村常務理事、下川

欠席者:なし

議題

1、報告事項:なし

2、検討事項

①地区割について

現状各地区の所属会員数に大きな差があり、役員の選出や、地区活動の継続などに問題が生じている。

全会員数:491（個人会員除く）、全施設数 100　　2025/1/20 現在

北部:会員数 36 人、施設数 11

盛岡:会員数 269 人、施設数 43

中部:会員数 86 人、施設数 20

南部:会員数 55 人、施設数 11

三陸:会員数 45 人、施設数 15

•これらの事より、岩手県を北部と南部の 2 地区に分けることが提案された。

地区の分け方として、会長、副会長より 2 つの案が示された。

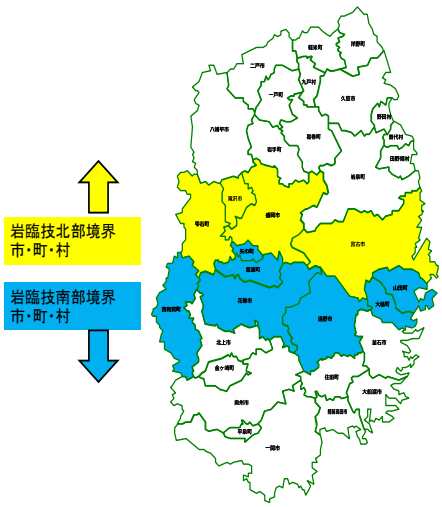
1案:現北部、盛岡地区を「新北部地区」。現南部、中部、三陸地区を「新南部地区」とする。ただし、2 地区の会員数を平等にするために、本来「新北部地区」に分類される岩手医科大学附属病院は「新南部地区」に分類する。

2 案:地図に沿って分ける案。

雫石町、盛岡市、宮古市よりも北にある地区を「新北部地区」。それ以南を「新南部地区」とする。

以上2案を理事会で決議を取ることとした。

定款上、地区割に関しては定款細則内での規定なので理事会の承認で変更可能。



②地区活動について

•2 地区編成での地区のあり方は、今までの様な地区活動を行うための区分ではなく、あくまで理事等を選出するためのエリア区分と考える。

•地区開催の研修会は廃止で良いのではないか。

•研修会は学術部で年間計画を立ててWEBを活用しながら開催していく。

（ い わ て ）

•県学会も学術部が主導し、理事が学会の開催の中心となり、実行委員は理事が選出する。

•地区予算は廃止する。

•地区部門員は選考方法を考える必要がある（学術部の組織再編も検討中）。

•今まで盛岡地区の役員が担ってくれていた公益事業の要員について、今後どうするか考える必要がある。

③理事選出について

•定款で理事は 10 名以上 15 名以内と規定している。

•選出する方法を、あらかじめ決める必要があるのではないか。例えば、人数の多い施設に理事を選出してもらう旨を定款に追記するなどの必要があるのではないか。

•現在の理事が辞めたい時に次の理事を自分で探さないと辞められないのは問題がある。

•部門長や部門員の選出にも同じことが言える。

•理事などに報酬が必要ではないか。

•新たなルールを各自考えてくること。

④事務局移転について

•紺屋町に物件が見つかった。

•予算的には間に合うと思われる。

•千葉副会長、千枝会計、下川は物件を内覧し、移転先としてはあり得るのではないかとの判断。

•2/4 に引っ越し業者の見積もりがあり、コピー機が運べるか確認する。また、倉庫にある材料を川村理事に写真を撮ってきてもらい、見積もりの中に加えられるか検討する。

⑤震災などの記録について

•技師会としての記録の残し方が決まっていないのは問題ではないか。

•東日本大震災については、何かしらの記録を技師会として保管しておけないか（過去の発表スライド、各施設で保有している写真 等）。

•各種資料をサイボウズで保存するのはどうか。255Gの保存は可能。

•サイボウズのファイル管理を使用するのであれば、ルール作りが必要。

•災害時の記録のフォーマットを作る必要があるのではないか。佐々木理事が案作成。

•災害時の記録に限らず、必要な書類の雛型がないので、それらの整備も必要。

⑥理事継続の意思確認について

•小野寺副会長⇒職場が変わるので今までの様な関わり方が可能か不明だが、それで問題なければ継続したい。

4、その他

なし

（ い わ て ）

第２回　理事会議事録

日時　　:令和７年３月19日（水）18:00～19:45

場所　　:Web開催（zoom使用）

参加者　:高橋一博、千葉寛、小野寺奈緒、佐々木まゆみ、浅沼匡介、川村将史、朝岡千佳子、
下川波歩、熊谷公代

欠席者:熊谷正邦、藤倉由規、千葉拓也、菊池佐知子、中沢和浩、新沼美穂子、鈴木知子

【議事録】

1.審議事項

1)　組織再編計画について

①　地区区分の再編について（小野寺副会長）

•令和７年度をもって５地区制（地区技師会）を廃止し、２地区制とする。

•新しい地区割は理事選出区分とし、地区単位での活動は廃止する。

•令和７年度は５地区制のままとする。ただし、各地区で総会を行うが、地区活動は行わない。

•地区活動費は令和７年度から廃止とする（10万円×５地区の経費削減）。

•理事選出方法については、令和７年度の検討事項とする。

⇒賛成多数で承認された。

②　学術部再編について（小野寺副会長）

•地区部門員がほぼ機能していないため、２地区制への移行に先行して、令和７年度から地区部門員を廃止する。

•各部門は部門長と副部門長の２名体制とし、役割分担を明確にする。

•令和７年度から研修会は学術部主導で開催する。

•令和７年度の県学会（南部地区主催）に学術部が協力し、令和８年度からの県学会は学術部と理事で企画•運営する。

•学術活動に必要な人員については、会員に協力を求める。→精度管理等会員に協力要請する。

•部門長および副部門長の選出方法や組織体制、支出規程の見直し等は令和７年度の検討事項とする。⇒賛成多数で承認された。

③　組織再編スケジュール（小野寺副会長）

•令和８年度から２地区制を開始するにあたり、令和７年度の新役員は１年で辞任とする方針。可能な限り、現行役員を令和７年度の新役員として再任したい。

•令和８年度から日臨技と任期を合わせることが可能となる。

•2地区制への移行にあたり、組織図や規程等の変更が必要となる。令和８年度からの移行にむけて、令和７年度中に臨時総会を行うことも検討する。

•令和10年度の北日本支部学会は岩手県が担当である。令和８年度には実行委員会の立ち上げが必要となるため、令和８年度からの役員は、可能な限り２期継続していただきたい。

•一般社団法人の理事の任期は２年なので令和７年度の新役員は１年、令和８年度は２年にする。２地区制への移行にあたり定款の改定が必要となる。

（ い わ て ）

•令和10年度の北日本学会（岩手県開催）に向けて体制を整える必要がある。地区理事、部門長とも現役員を令和7年度の新役員として再任したい。各地区の状況を確認。

⇒賛成多数で承認された。

2） 事務局移転について（下川事務局長）

•岩手医大 内丸 MC の矢巾への統合により、内丸 MC が使用できなくなる。

•事務所を内丸 MC 内から紺屋町ギボーシプラザ 402 号へ移転させる（事務所に直接関連する経費は年間 712,100 円）。

•事務局移転に伴い、貸倉庫を解約する（年間 133,200 円の経費削減）。

•移転に伴い、引っ越し費用や新規購入物品等による経費がかかる予定。

•移転は令和 7 年 7 月 1 日を予定したい（随時、理事会で情報を共有する）。その後の事務局運用については、令和 7 年度中に検討する。

⇒賛成多数で承認された。

3） ホームページのセキュリティ対策について（浅沼理事）

•ホームページのセキュリティ対策として、SSL 設定が必要であることから、早急に対応する（ホームページ関連で年間 11,880 円の経費が追加となる）。

•令和 7 年度中にサーバー移行も含めたホームページのリニューアルを検討する。

•地区再編や理事改選があるのでまずセキュリティを担保して令和8年に向けてリニューアルを進める意向 ⇒賛成多数で承認された。

4） 三陸南部山林火災への対応について（小野寺副会長）

•岩臨技としての対応および被災状況の報告と今後の課題。

•被災者を対象に会費減免を行う。申請があった場合、直近で開催される理事会で決議し、県事務局で免除申請の対応を行う。

※火災発生時の岩臨技の対応および被災状況は記録に残す。東日本大震災を教訓にする。

① 岩臨技会費の減免について

現行の細則（第 3 条）で減免できることを会員に伝え、詳細は次年度決める。申請は本人の意思なので強制ではない。

② 災害時の申請方法（案）

③ 災害時の対象者と減免基準（案）

⇒それぞれ賛成多数で承認された。



2. 報告事項（熊谷理事）

1） 令和 7 年度県学会について

会期: 令和 7 年 11 月 30 日（日）

会場: 前沢ふれあいセンター

担当: 南部地区技師会

•現在のところ開催日と会場しか決まっていない。

•ホールは飲食禁止のためランチョンセミナーはできない。

•休憩室（昼食用）として和室、研修室を考えている。

•実行委員はまだ決まっていない。早急に立ち上げたいが難しい状況。

•県立病院には当たっている。県立病院以外は統廃合等で引き受けてもらえない。藤沢病院には頼めるかもしれない。

（ い わ て ）

3. その他（小野寺副会長）

•記念誌について進捗報告。

•ほぼ完成している。冊数は 150～200 部。寄稿していただいた方に送る。

•施設数は 100 施設。施設への配布とし、個人会員には配布しない。。

•会員•賛助会員はホームページに PDF で掲載する。

以上、すべて終了したため 19 時 45 分閉会した。

令和 6 年度　岩臨技　第 2 回生理機能部門研修会に参加して

遠野病院　及川日向

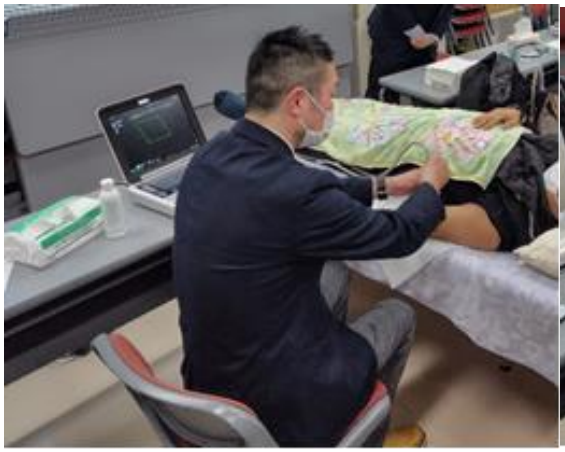
令和 7 年 2 月 1 日に都南公民館（キャラホール）にて、赤坂病院　診療放射線技師の村田先生、三愛病院付属矢巾クリニック　臨床工学技士の中村先生、診療放射線技師の土屋先生を講師、実際にシャントのある腎友会のお二方をハンズオンのモデルとしてお招きし、VA エコー（シャントエコー）に関する研修が行われました。

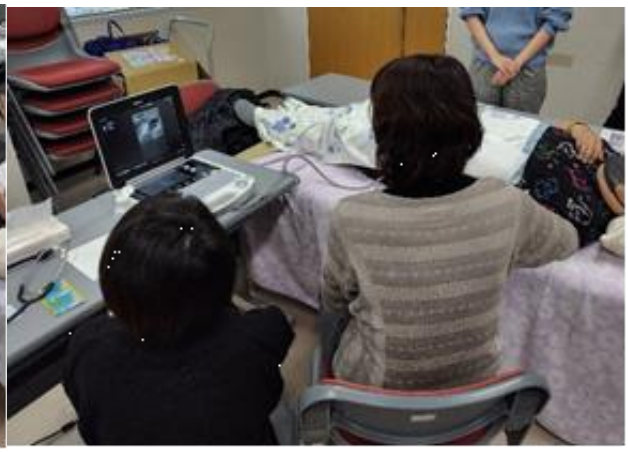
自施設で透析は行われていますが、透析室で実際に VA エコーを実施することや立ち会うことはなく、ほぼ知識の無い状態でしたが、講義により基礎的な知識、ハンズオンより実際の業務の流れを学べました。

VA エコーで、血流量や血液の流れにくさをみる機能評価と狭窄や閉塞などが無いか判断する形態評価を行い、安全な透析治療が実施されます。実際に体験してみて、発達したシャントは浮き上がっていて描出するのに気を取られていると知らぬ間に圧迫していたり、蛇行していて血管を見失ったりと技量の必要な検査だと改めて感じました。また、透析治療は頻回に継続していく治療であるため、患者の不快感や不安感が少しでも和らぐようなコミュニケーションをとる必要性も感じました。

タスクシフト/シェアの観点から需要が高まる VA エコーの学びの第一歩として、今回の研修は非常に有意義なものとなりました。

講師としてご教授していただいたお三方をはじめ、モデルとなってくれた腎友会のお二方、研修会実行委員の皆さまに感謝いたします。ありがとうございました。





研修会・講習会情報

エコーキャンプ　Iwate6th　2025

◯腹部エキスパートコース

開催日：7/19（土）-7/20（日）

場所：岩手県対がん協会 すこや館

◯レベルアップコース

開催日： 7/19（土）-7/20（日）

場所：岩手県対がん協会 すこや館

◯スタートアップコース

開催日：7/19（土）-7/20（日）

場所：岩手県対がん協会 すこや館

お問い合わせ　　みちのく超音波研究会

✉michinoku.us.sg@4gmail.com　http//Michinoku-us.kenkyuukai.jp/

****

お知らせ　令和７年度 青臨技 臨床検査総合部門研修会のお知らせ

****

日　時：　令和７年５月 31 日（土曜日）[13:00 ～ 17:00]

会　場：　青森県観光物産館 アスパム ６階「岩木」

開催形式：　現地開催

プログラム:

12:30～13:00　受 付

13:00～13:10　開会の挨拶・司会 吉田 泰憲 技師 青森労災病院

13:10～14:10　「青森県のこれからの医療情勢、人材確保と育成、 台湾とハワイの医療機関での視察経験」

座長 :吉田 泰憲 技師 青森労災病院

講師 :石山 雅大 先生 弘前大学医学部附属病院

14:10～15:10　「未来の臨床検査」への取り組み紹介

臨床検査技師が活躍する場をひろげよう

座長 :前山 宏太 技師 十和田市立中央病院

講師 :内藤 麻美 先生 つくば i-Laboratory 有限責任事業組合

15:10～15:30　休 憩

15:30～17:00　「生涯教育研修制度の再構築／自己キャリアプラン支援体制」

座長 :奥沢 悦子 技師 八戸市立市民病院

講師 :横地 常広 会長 日本臨床衛生検査技師会 代表理事

参 加 費：　日臨技会員 1,000 円（今回は日臨技会員のみとなります）

募集定員：　50 名

日臨技生涯点数：基礎 20 点

【 参加申込方法 】

日臨技 HP より研修会・学会検索事前申し込みサイトから申し込みください

（ い わ て ）

****

お知らせ

学術研修会のお知らせ

****

日時　：　2025 年 6 月 14 日（土）14:00 ～16:20（受付 13:15～）

会場　：　東北大学医学部保健学科 A 棟 1 階大講義室（現地開催）

プログラム

司会:東北大学病院 診療技術部 臨床検査部門 佐々木 克幸 技師

14:00～14:40　基調講演

「自施設で試薬検討をやってみよう（バリデーションソフトの活用法）」

東北大学病院 診療技術部 臨床検査部門 木原 純子 技師

14:40～14:50　休憩

14:50～16:20　特別講演

「試薬検討で用いられる統計学的意味と使い分け（直線性と相関分析の統計学的評価方法の意義と使い方と中心に）」

東北大学大学院理学研究科 数学専攻 准教授 岩渕 司 先生

16:20　終了予定

主催：（一社）宮城県臨床検査技師会

日臨技生涯教育研修制度:専門教科 20 点

参加費　：　会員 1,000 円（税込）、非会員 5,000 円（税込）

参加定員：　50 名（先着順）

参加申込期間:　2025 年 4 月 4 日（金）～ 2025 年 5 月 30 日（金）

※詳細は HP ご参照ください。

http://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/seiryo/areab.html



日臨技と日本臨床検査学教育協議会と共同でマッチングシステム構築を開始していきます。県内の学生の受けいれ体制を整えていかないとなりません。そのためには施設に臨地実習指導者を最低でも一名存在しないとなりません。

詳しくは日臨技ホームページをご確認ください。

（ い わ て ）

****

お知らせ　タスク•シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会（岩手県 006）

****

日　時:　　令和 7 年 6 月 22 日（ 日 ）
受付時間 :　9:00 ～ 9:30
開始時間 :　9:30 ～（終了時間 17:30）
会　場:　　いわて県民情報交流センター（アイーナ）8階（研修室　803）
募集人員 :　60 名
受 講 料:　会員 15,000 円
　　非会員 40,000 円（資料代含む）※ 申し込み後の受講料の返金は致しません。
申込締切:　令和 7 年 6 月 12 日（ 木 ）
入金締切:　令和 7 年 6 月 12 日（ 木 ）
申込方法:　日臨技ホームページの「指定講習会専用ページ」から申し込みください。



～編集後記～

桜も散ってしまい、新緑の季節になっています。今回の会報は、議事録報告が多くなってしまい、年度初めということもあり研修会案内も少なくなってしまいましたが、ご了承ください。全国的に百日咳の感染が増えてきていますが、皆様も体調管理に気をつけてましょう。（fuji）

会報「いわて」第 352 号 2025.5

一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会

発行人：

会　　長 ： 高橋　一博

事 務 局 ： 下川　波歩

編集責任者 ： 熊谷　公代

藤倉　由規

〒020-8505　盛岡市内丸 19－1 岩手医大中検内